



校長室だより

吉野川市立学島小学校
2025年2月28日
NO. 8

「なかまの像」引き継ぎ式

本校の玄関には、「なかまの像」が飾られています。

「なかまの像」は、今から50年以上も前に「みんなが楽しい学校」を願って創られ、それ以降の卒業生全員の名前を記したペナントが付けられています。

2月21日（金）、その「なかまの像」を6年生から5年生へと引き継ぎました。先輩方が学島小学校で学んだ大切な思い「差別やいじめのないみんなが楽しい学校をみんなで作ろう」は今も受け継がれています。

本校の子どもたちは、優しく、学年や男女関係なく誰とも仲よくでき、高学年の子が低学年の子を大切にします。この本校の子どもたちの素晴らしさは、「なかまの像」が50年以上も受け継がれてきたことの賜だと思っております。

これからも、保護者や地域の皆さんと共に、「なかまの像」に込められた願いや思いを大切にしながら、みんなが楽しい学島小学校にしていこうという気持ちを強くしました。



「なかまの像」プロジェクト

川島町内3校は、今年度と来年度の2年間「学校全体で取り組むポジティブ行動支援モデル事業」の県指定を受け、本校では、「なかまの像」プロジェクトに取り組みました。ポジティブ行動支援とは、できている望ましい行動に注目したり期待する望ましい行動を引き出したりすることで、子どもの意欲を引き出したり自己肯定感を高めたりする方法です。

「なかまの像」プロジェクトの第1弾として、12月に「チャイムの合図を守ろう」に全校のみんなで取り組みました。チャイムが鳴り終わった時に、次の授業の準備をして着席できているとビー玉がもらえ、各学年が獲得したビー玉を大きなビンにためていきました。子どもたちは声を掛け合って、ビー玉をどんどんためていきました。ビンいっぱいビー玉をためたご褒美に、12月18日は昼の掃除をやめて、長い昼休みをみんなで楽しむことができました。

